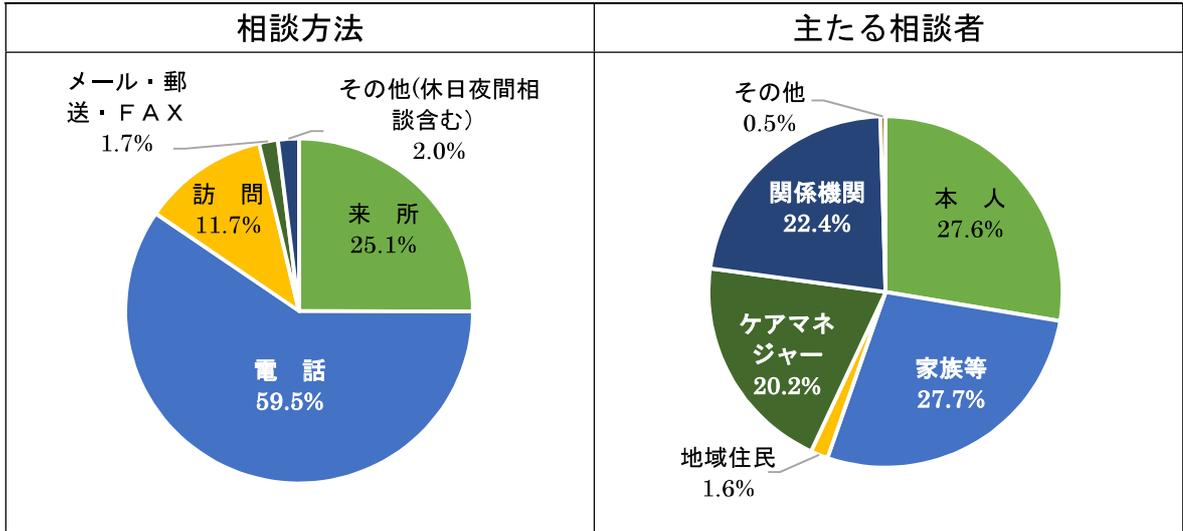


1. 地域包括支援センター相談状況について

(1) 令和2年度地域包括支援センター相談統計（令和2年4月～令和3年3月）

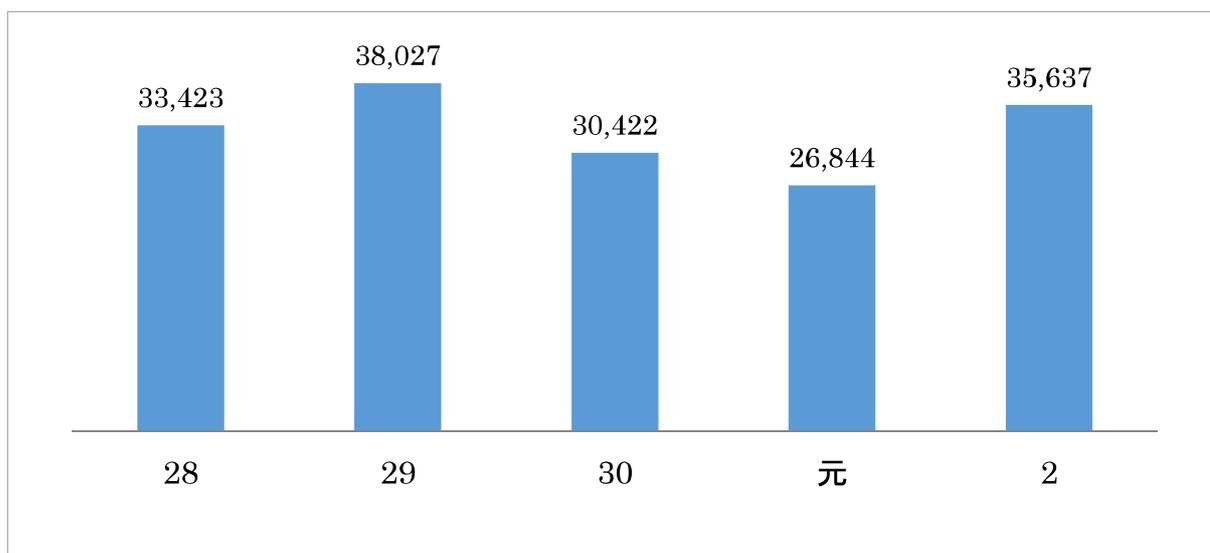


件数		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
		（65歳以上） 高齢者人口	高齢者人口※1	7,527	8,055	7,481	6,375	5,915	5,650	7,968
高齢化率	21.1%		20.9%	18.1%	18.5%	17.6%	19.1%	21.9%	22.0%	19.9%
高齢者人口全体に対する割合	13.1%		14.1%	13.1%	11.1%	10.3%	9.9%	13.9%	14.5%	100.0%
相談方法	来所	1,177	1,434	836	903	599	818	1,164	2,066	8,997
	電話	1,892	3,010	2,368	2,331	2,665	1,074	2,349	4,908	20,597
	訪問	823	562	457	537	506	458	667	967	4,977
	メール・郵送・FAX	110	37	40	15	149	15	15	143	524
	その他(※2)	52	115	21	29	55	62	46	162	542
	計	4,054	5,158	3,722	3,815	3,974	2,427	4,241	8,246	35,637
主たる相談者	本人	1,326	1,332	1,015	1,056	946	676	1,304	2,194	9,849
	家族等	1,262	1,400	969	1,168	1,109	630	1,190	2,141	9,869
	地域住民	66	68	117	49	33	41	71	119	564
	ケアマネジャー	720	1,005	481	798	768	624	878	1,942	7,216
	関係機関	670	1,293	1,135	729	1,111	444	774	1,815	7,971
	その他	10	60	5	15	7	12	24	35	168
	計	4,054	5,158	3,722	3,815	3,974	2,427	4,241	8,246	35,637

※1 高齢者人口は令和3年1月1日現在

※2 休日夜間相談含む

(2) 地域包括支援センターの相談件数の推移（平成28年度～令和2年度）



※地域包括支援センターの相談件数を平成28年度から示した。

(3) 相談内容延べ件数の推移

年度	28	29	30	元	2
介護保険	17,175	20,598	15,898	13,415	16,292
介護予防プラン及び 新予防給付プラン関連	7,178	6,489	4,598	4,357	3,003
介護予防事業関連	558	479	325	325	311
一般施策(※1)	4,089	5,394	4,140	3,853	3,560
医療・看護・保健	11,644	12,928	10,897	9,752	7,826
権利擁護	1,947	2,498	1,544	1,457	1,573
虐待	931	841	761	794	1,036
生活・経済について(※2)	8,046	8,577	7,680	6,834	7,688
障害者制度について	235	207	270	250	149
介護保険と一般施策以外のサー ビスに関する相談(在宅サービス)	2,473	3,619	3,347	3,057	470
その他(※3)	4,019	5,611	5,120	3,879	1,554
認知症	3,951	4,584	3,927	3,362	3,304
計	62,246	71,825	58,507	51,335	46,766

※1 紙おむつ支給、おむつ購入費助成、福祉電話の貸出し、緊急通報システム、火災安全システム、寝具乾燥、出張理美容、生活支援型ホームヘルプサービス、徘徊探知機、自立支援住宅改修、車椅子短期貸出の相談・申請

※2 生活保護、アパート立ち退き、ごみ、相隣関係、住まい（介護保険外の施設、養護老人ホーム、安心住まい等）

※3 苦情、関係機関からの情報提供（実態調査票の受け渡しなど）

(4) 令和2年度アウトリーチ事業相談統計（令和2年4月～令和3年3月）

件数		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
		高齢者人口 (65歳以上)	高齢者人口	7,527	8,055	7,481	6,375	5,915	5,650	7,968
高齢化率	21.1%		20.6%	17.9%	18.4%	17.5%	18.7%	21.9%	21.9%	19.8%
高齢者人口 全体に対する割合	13.1%		14.0%	13.1%	11.1%	10.3%	9.8%	14.0%	14.5%	100.0%
相談方法	来所	720	1,301	859	699	684	825	1,154	1,009	7,251
	電話	921	1,400	945	975	1,769	276	1,082	748	8,116
	訪問	588	656	428	630	596	358	292	357	3,905
	その他	106	114	35	117	144	252	226	83	1,077
	計	2,335	3,471	2,267	2,421	3,193	1,711	2,754	2,197	20,349
主たる相談者	本人	1,160	1,629	913	1,187	1,208	659	777	623	8,156
	家族・親族	322	445	321	341	477	166	515	305	2,892
	近隣・知人	59	49	52	37	74	12	54	56	393
	行政関係者	81	164	153	63	333	32	262	148	1,236
	関係機関	16	115	42	124	191	24	37	70	619
	民生・児童 委員	426	719	637	489	519	583	692	749	4,814
	医療機関・ 介護事業者 等	259	329	143	177	360	178	406	243	2,095
	見守りボラ ンティア等 (NPO等 地域団体を 含む)	11	5	0	0	16	0	2	0	34
	その他	1	16	6	3	15	57	9	3	110
計	2,335	3,471	2,267	2,421	3,193	1,711	2,754	2,197	20,349	

※ 高齢者人口は令和3年1月1日現在

(5) 令和2年度地域包括支援センター事業実績（令和2年4月～令和3年3月）

件数										合計	
		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部		
包括的支援事業	訪問による実態把握延べ件数	823	562	457	537	506	458	667	967	4,977	
	ケアマネジャー相談実件数※	720	1,005	481	798	768	624	878	1,942	7,216	
	個別ケース検討会議開催回数	22	32	29	11	10	5	26	19	154	
	地区懇談会開催回数	7	2	2	3	0	1	1	2	18	
	出張相談等開催回数	19	6	14	9	7	1	2	12	70	
	地域における会議体への出席回数	15	7	3	5	4	11	5	9	59	
	地域活動への参加(会議以外)	0	7	5	0	7	4	0	11	34	
介護予防支援事業	予防給付プラン3月請求件数	184	179	142	156	152	142	175	227	1,357	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	102	63	50	83	67	44	77	51	537
		委託件数	82	116	92	73	85	98	98	176	820
第1号介護予防支援事業	予防ケアマネジメント3月請求件数	108	111	101	79	74	75	129	118	795	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	60	54	45	43	43	21	66	39	371
		委託件数	48	57	56	36	31	54	63	79	424

※ケアマネジャー相談件数は、平成28年度より実情に合わせて実件数とした。

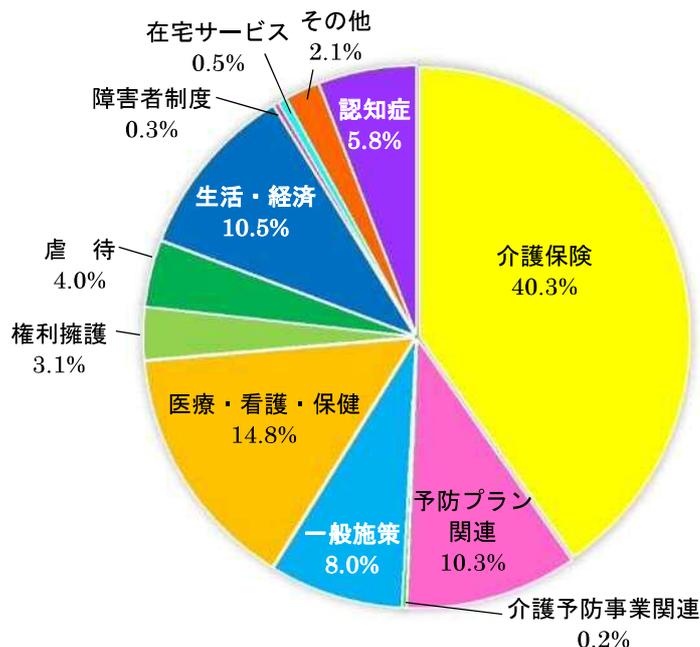
(6) 包括的・継続的ケアマネジメント支援について（令和2年度）

① ケアマネジャー相談件数

総合相談のうち、主たる相談者がケアマネジャーからの相談件数。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	542	526	602	645	584	586	675	561	651	590	587	667	7,216

ケアマネジャー相談内容内訳



- ・相談件数は昨年度より 1,080 件（17.6%）増加。
- ・相談内容の内訳は全体的に 1～2 ポイント増加している。
- ・ポイント増加項目上位は、「一般施策（2.7 ポイント増）」、「介護保険（2.6 ポイント増）」、「虐待（1.4 ポイント増）」

② 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

コロナウイルス感染予防に伴い、包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築については、会議等の対面支援が困難な状況下であったため、可能な範囲で工夫しながら実施している。

項目	内容
関係機関との連携作り	<ul style="list-style-type: none"> ○研修・勉強会による連携。広い会場で間隔を大きく取り、参加者人数を絞って開催。 ○元気はつらつ報告会（自立支援地域ケア会議）の模擬実施による連携。 ○オンライン環境整備状況の調査実施。オンライン会議への参加支援の実施。

医療機関との連携体制作り	<p>○介護支援専門員と共に電話会議や退院カンファレンスに参加による連携体制構築。</p> <p>○オンライン方式、会場と併用のハイブリッド方式による会議・研修の実施や参加による多職種連携の会との連携。</p> <p>○研修による意見交換後、アンケートによる圏域内実態調査を実施。結果を、多職種連携の会に提供し、フィードバックする。</p>
地域のインフォーマルサービスとの連携作り	<p>○地域の主任介護支援専門員が地域の会議体に委員として参画。NPO やCSW、介護予防リーダーと連携につながった。</p> <p>○個別相談の中での連携（困りごとサービス、家政婦紹介所、民生委員、地域住民、共生サロン）</p> <p>○集合住宅との連携体制構築（高層マンション理事会への参加、管理人のリストアップ）</p> <p>○都営アパートでの出張相談や介護予防サポーターとの情報交換会</p>
介護支援専門員に対する個別支援	<p>○介護支援専門員地区懇談会で、地域課題を検討、抽出した課題と、8 包括の主任介護支援専門員向けアンケート（聞き取り調査含む）結果を整理。次期ケアマネジメントの課題として提出。</p> <p>○介護支援専門員地区懇談会を、アンケートを実施及び結果の紙面提供に変更。</p>

介護支援専門員向け研修会・勉強会の実施

別紙「令和2年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧」参照

③ 研修企画委員会及び主任介護支援専門員育成委員会

令和元年度末以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、居宅介護支援事業所の介護支援専門員は会議体や研修に参加することが困難な状況となった。

そのため、研修企画委員会及び主任介護支援専門員育成委員会活動は休止となった。改めて、コロナ禍における、主任介護支援専門員の育成環境整備 及び 連携体制の確保の検討が必要とされている。

令和2年度下半期より、高齢者総合相談センターの職種別専門部会が、新たな支援体制の構築に向けた検討を引き継いで実施している。

高齢者総合相談センター 主任ケアマネジャー専門部会

	日程	概要
第1回	11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ支援に関する情報共有（研修・懇談会・元気はつらつ報告会・区主催研修・主任ケアマネジャー自主グループ支援） ・地域課題の全体会議への報告について
第2回	2月1日	地域ケア全体会議の地域課題についての意見交換「利用者の介護サービスへの影響」

2. 運営事業委託実施報告・実施計画

(1) 令和2年度実績報告

① 委託事業所8事業所

(ア) 菊かおる園地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(イ) 東部地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ウ) 中央地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区民社会福祉協議会)
(エ) ふくろうの杜地域包括支援センター	(社会福祉法人	敬心福祉会)
(オ) 豊島区医師会地域包括支援センター	(公益社団法人	豊島区医師会)
(カ) いけよんの郷地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)
(キ) アトリエ村地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ク) 西部地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)

② 執行状況

令和2年4月1日 運営法人と委託契約締結

令和2年5月 各法人が提出した総価分の支払計画額と各月の履行実績に応じて支払う単価分の合計を毎月執行

③ 委託料予算額及び執行額

2年度	金額	内訳	備考
予算	358,910,320 円		
執行額	357,127,260 円	①49,146,540 円 ②47,904,040 円 ③47,474,040 円 ④45,975,540 円 ⑤45,494,540 円 ⑥45,136,980 円 ⑦40,329,040 円 ⑧35,666,540 円	①元年度より運営法人との委託契約は、総価分と履行実績に応じて支払われる単価契約分の合計が支払われる契約に変更した。 ②会計検査院の指摘により事業所のプラン収入は、区の歳入となった。 それに伴う事業所の減収額相当をプランナー人件費として委託料を増額した
執行残	1,783,060 円		執行率 99.5%

(2) 令和3年度実施計画

① 委託事業所8事業所

(ア) 菊かおる園地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(イ) 東部地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ウ) 中央地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区民社会福祉協議会)
(エ) ふくろうの杜地域包括支援センター	(社会福祉法人	敬心福祉会)
(オ) 豊島区医師会地域包括支援センター	(公益社団法人	豊島区医師会)
(カ) いけよんの郷地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)
(キ) アトリエ村地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ク) 西部地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)

② 執行状況及び計画

令和3年4月1日 運営法人と委託契約締結

令和3年5月 各法人が提出した総価分の支払計画額と各月の履行実績に応じて支払う単価分の合計を毎月執行

③ 委託料予算額

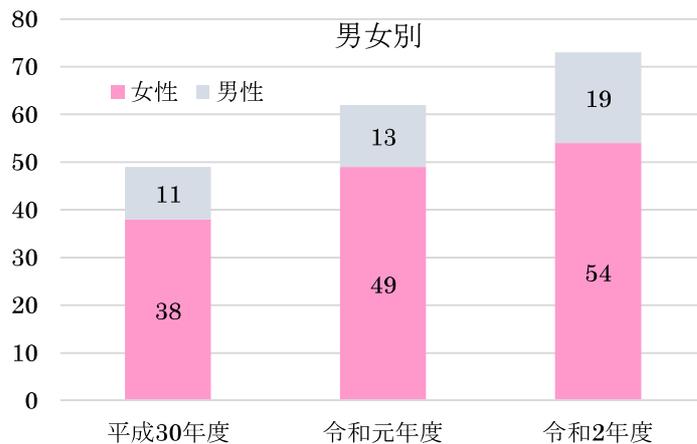
3年度	金額	内訳	備考
予算額	381,829,320 円	一般会計: 24,000,000 円 介護保険事業会計: 357,829,320 円	① 3年度より、夜間・休日等の相談に対応するため、委託料(単価契約分)を増額した。 ② 3年度は、コロナ禍における高齢者の生活不活発、見守り支援対策としての訪問、出張相談、介護予防推進支援、見守り強化のため、各地域包括支援センター1名の非常勤職員の職員経費分を増額した。
総価分	377,829,320 円	① 51,505,252 円 ② 50,837,770 円 ③ 48,470,098 円 ④ 48,466,192 円 ⑤ 48,368,040 円 ⑥ 48,076,040 円 ⑦ 43,308,040 円 ⑧ 38,797,888 円	
単価分	4,000,000 円	@500,000 × 8 事業所	

(3) 高齢者虐待受理状況の推移（地域包括支援センター等から受理した件数）

平成30年度～令和2年度（令和3年3月末時点）

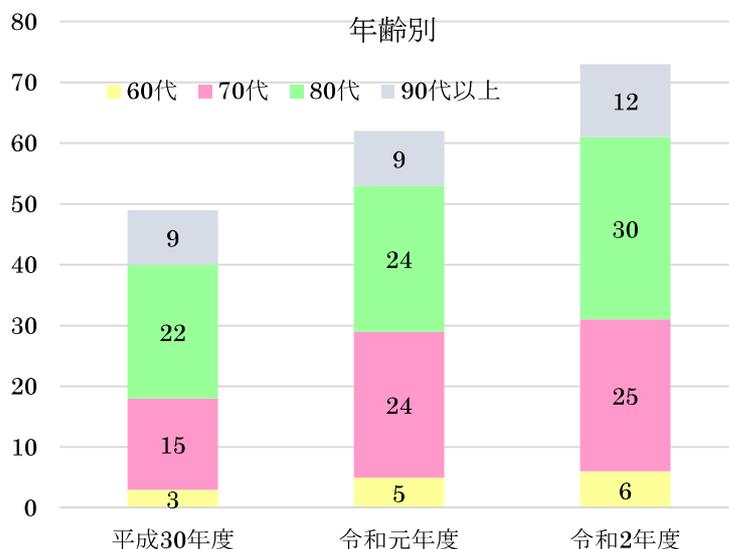
① 被虐待者の内訳（男女別）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
男性	11	22.4%	13	21.0%	19	26.0%
女性	38	77.6%	49	79.0%	54	74.0%
合計	49	100.0%	62	100.0%	73	100.0%



② 被虐待者の内訳（年齢別）

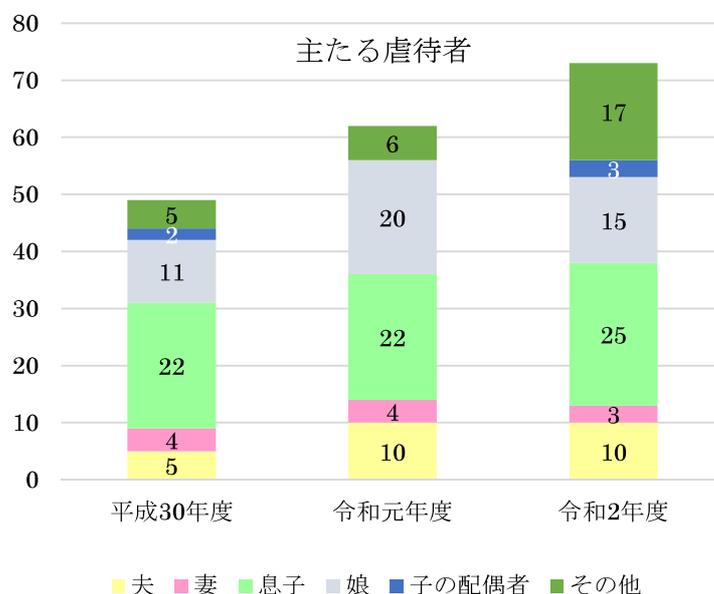
	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
60代	3	6.1%	5	8.1%	6	8.0%
70代	15	30.6%	24	38.7%	25	34.0%
80代	22	44.9%	24	38.7%	30	42.0%
90代以上	9	18.4%	9	14.5%	12	16.0%
合計	49	100.0%	62	100.0%	73	100.0%



③ 主たる虐待者（件数・重複あり）

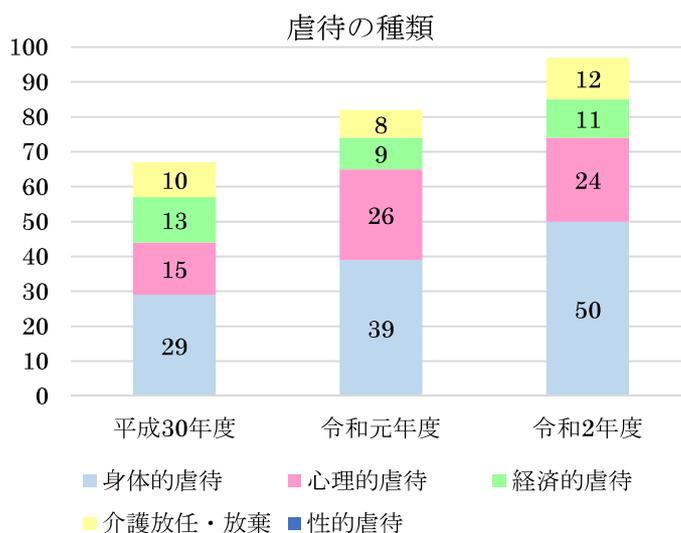
	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
夫	5	10.2%	10	16.1%	10	13.7%
妻	4	8.2%	4	6.5%	3	4.1%
息子	22	44.9%	22	35.5%	25	34.2%
娘	11	22.4%	20	32.3%	15	20.5%
子の配偶者	2	4.1%	0	0.0%	3	4.1%
その他※	5	10.2%	6	9.7%	17	23.3%
合計	49	100.0%	62	100.0%	73	100.0%

※元夫、孫、兄弟姉妹、甥



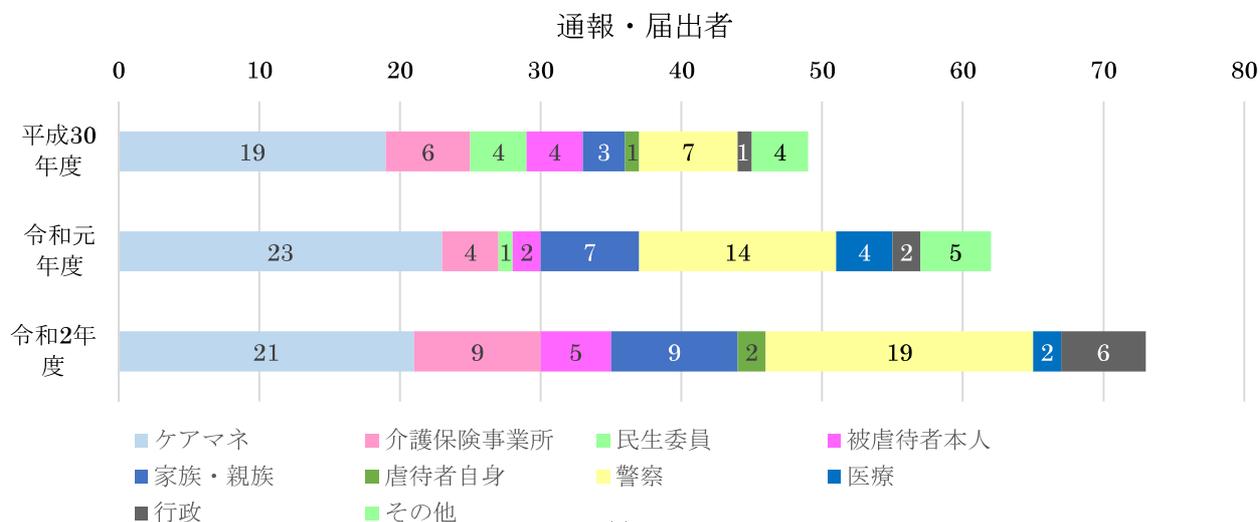
④ 虐待の種類（件数・重複あり）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
身体的虐待	29	43.3%	39	47.6%	50	51.5%
心理的虐待	15	22.4%	26	31.7%	24	24.7%
経済的虐待	13	19.4%	9	11.0%	11	11.3%
介護放任・放棄	10	14.9%	8	9.8%	12	12.4%
性的虐待	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	67	100.0%	82	100.0%	97	100.0%



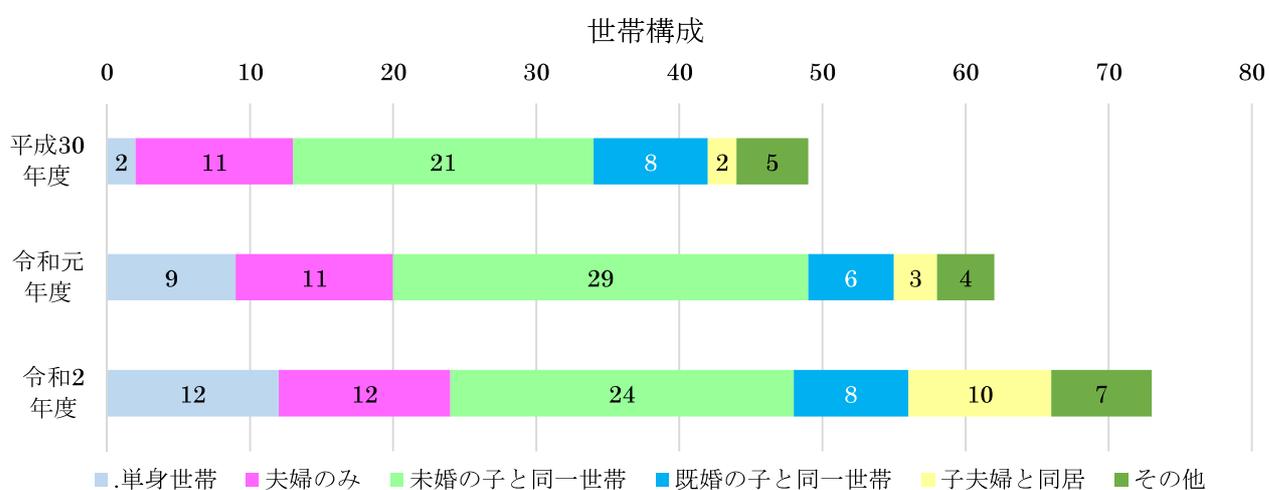
⑤ 通報・届出者（件数・重複あり）

	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ケアマネ	19	38.8%	23	37.1%	21	28.8%
介護保険事業所	6	12.2%	4	6.5%	9	12.3%
民生委員	4	8.2%	1	1.6%	0	0.0%
被虐待者本人	4	8.2%	2	3.2%	5	6.8%
家族・親族	3	6.1%	7	11.3%	9	12.3%
虐待者自身	1	2.0%	0	0.0%	2	2.7%
警察	7	14.3%	14	22.6%	19	26.0%
医療	0	0.0%	4	6.5%	2	2.7%
行政	1	2.0%	2	3.2%	6	8.2%
その他	4	8.2%	5	8.1%	0	0.0%
合計	49	100.0%	62	100.0%	73	100.0%



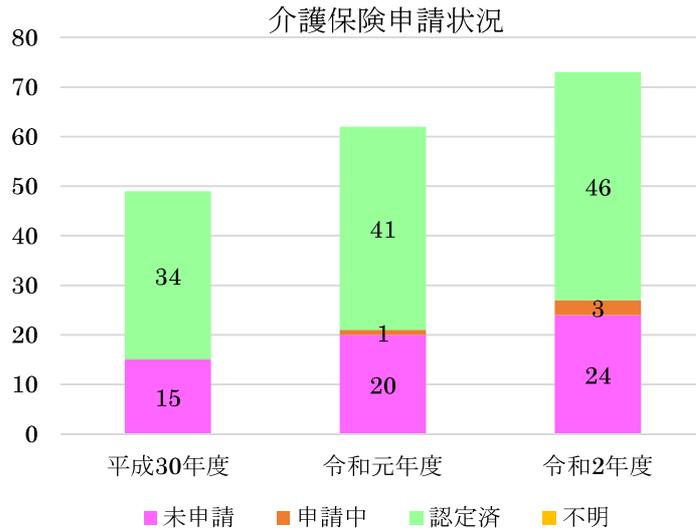
⑥ 世帯構成

	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
単身世帯	2	4.1%	9	14.5%	12	16.4%
夫婦のみ	11	22.4%	11	17.7%	12	16.4%
未婚の子と同一世帯	21	42.9%	29	46.8%	24	32.9%
既婚の子と同一世帯	8	16.3%	6	9.7%	8	11.0%
子夫婦と同居	2	4.1%	3	4.8%	10	13.7%
その他	5	10.2%	4	6.5%	7	9.6%
合計	49	100.0%	62	100.0%	73	100.0%



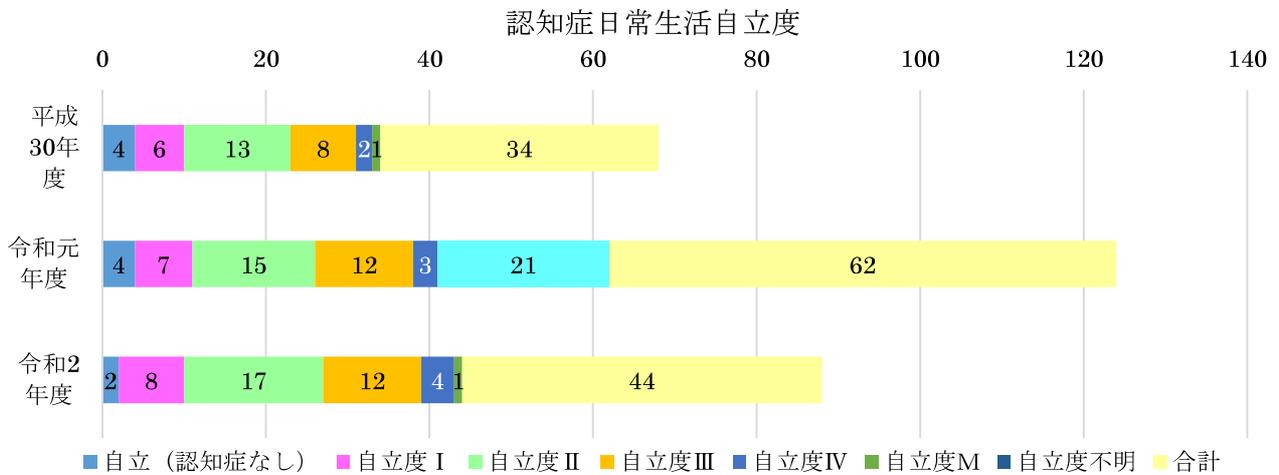
⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
未申請	15	30.6%	20	32.3%	24	32.9%
申請中	0	0.0%	1	1.6%	3	4.1%
認定済	34	69.4%	41	66.1%	46	63.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	49	100.0%	62	100.0%	73	100.0%



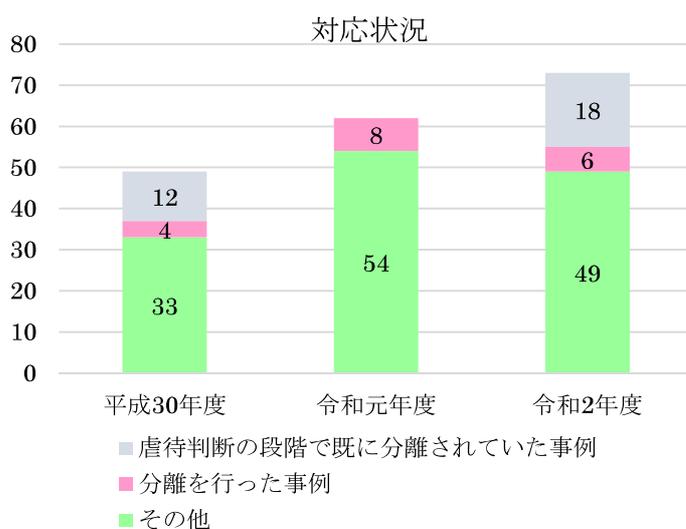
⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
自立(認知症なし)	4	11.8%	4	6.5%	2	4.5%
自立度 I	6	17.6%	7	11.3%	8	18.2%
自立度 II	13	38.2%	15	24.2%	17	38.6%
自立度 III	8	23.5%	12	19.4%	12	27.3%
自立度 IV	2	5.9%	3	4.8%	4	9.1%
自立度 M	1	2.9%	0	0.0%	1	2.3%
自立度不明			21	33.9%		
合計	34	100.0%	62	100.0%	44	100.0%



⑨ 対応状況

	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	12	24.5%	0	0.0%	18	24.7%
分離を行った事例	4	8.2%	8	12.9%	6	8.2%
その他	33	67.3%	54	87.1%	49	67.1%
合計	49		62		73	100.0%



※内訳（重複あり）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
	件数	件数	件数
養護者に対する助言	14	10	21
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	0	2	0
新たに介護保険サービスを利用	2	5	3
介護保険サービスのケアプランの見直し	13	11	11
介護保険サービス以外のサービスを利用	2	2	2
経過観察(見守り)	6	11	19
その他	5	20	5

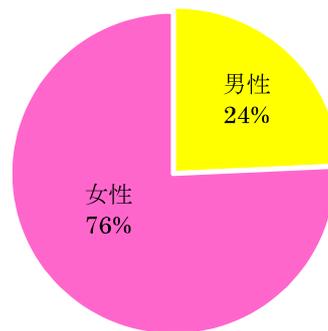
(4) 令和元年度東京都高齢者虐待受理状況

令和2年3月末現在

① 被虐待者の内訳（男女別）

	件数	割合
男性	707	24%
女性	2,204	76%
合計	2,911	100%
平成30年度	2,835	3%増

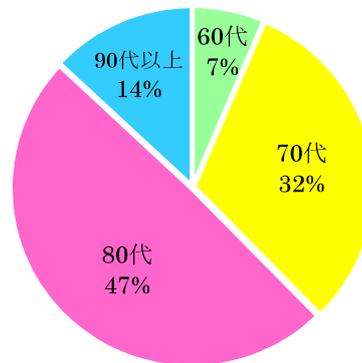
① 被虐待者の内訳（男女別）



② 被虐待者の内訳（年齢別）

	件数	割合
60代	191	7%
70代	937	32%
80代	1,363	47%
90代以上	420	14%
合計	2,911	100%

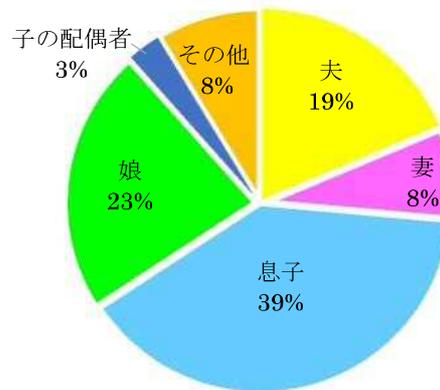
② 被虐待者の内訳（年齢別）



③ 主たる虐待者（件数・重複あり）

	件数	割合
夫	575	19%
妻	240	8%
息子	1,212	39%
娘	700	23%
子の配偶者	88	3%
その他	267	8%
合計	3,082	100%

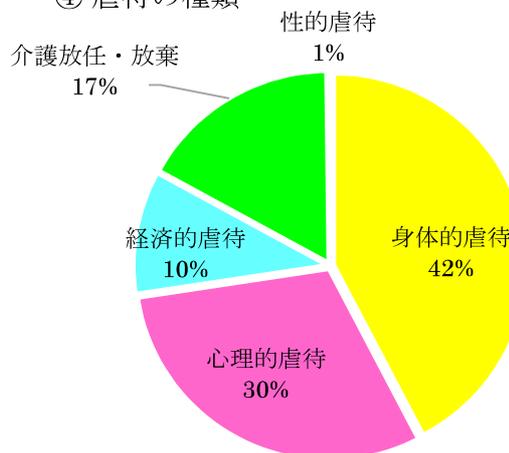
③ 主たる虐待者



④ 虐待の種類（件数・重複あり）

	件数	割合
身体的虐待	1,865	42%
心理的虐待	1,333	30%
経済的虐待	456	10%
介護放任・放棄	742	17%
性的虐待	8	1%
合計	4,404	100%

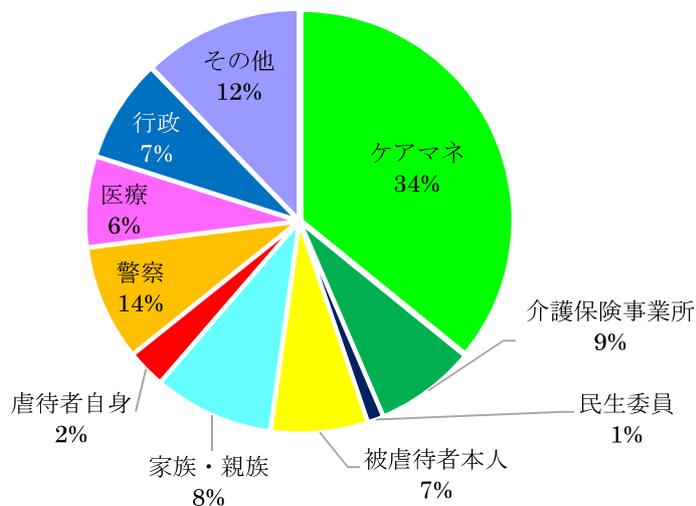
④ 虐待の種類



⑤ 通報・届出者（件数・重複あり）

	件数	割合
ケアマネ	1,491	34%
介護保険事業所	393	9%
民生委員	37	1%
被虐待者本人	317	7%
家族・親族	345	8%
虐待者自身	91	2%
警察	583	13%
医療	247	6%
行政	309	7%
その他	519	12%
合計	4,332	100%

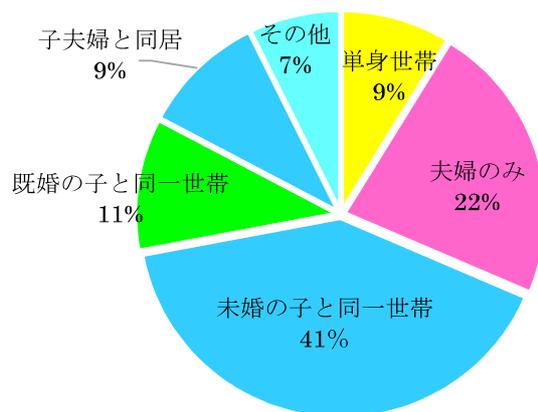
⑤ 通報・届出者



⑥ 世帯構成

	件数	割合
単身世帯	253	9%
夫婦のみ	644	22%
未婚の子と同一世帯	1,238	43%
既婚の子と同一世帯	297	10%
子夫婦と同居	272	9%
その他	207	7%
合計	2,911	100%

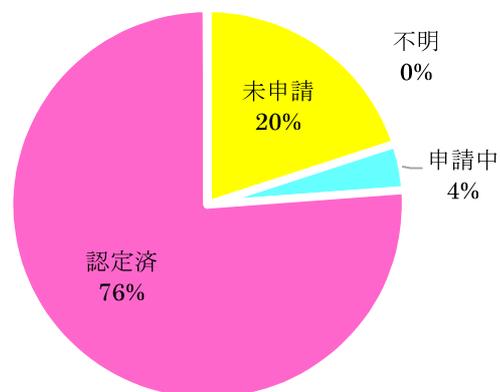
⑥ 世帯構成



⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

	件数	割合
未申請	663	23%
申請中	99	3%
認定済	2,148	74%
不明	1	0%
合計	2,911	100%

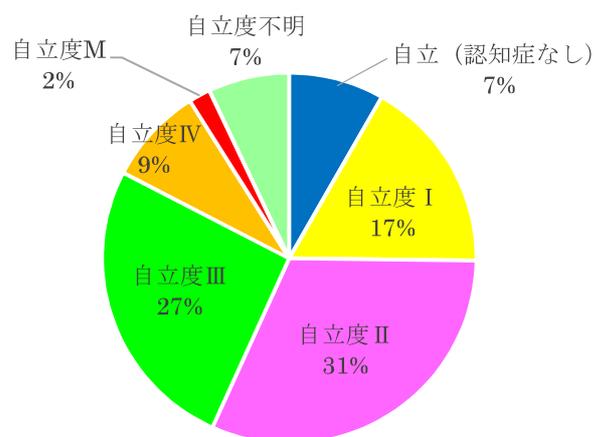
⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況



⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	件数	割合
自立(認知症なし)	147	7%
自立度 I	366	17%
自立度 II	674	31%
自立度 III	569	26%
自立度 IV	195	9%
自立度 M	47	2%
自立度不明	150	7%
合計	2,148	100%

⑧ 介護保険認定済者の認知症日常生活自立度



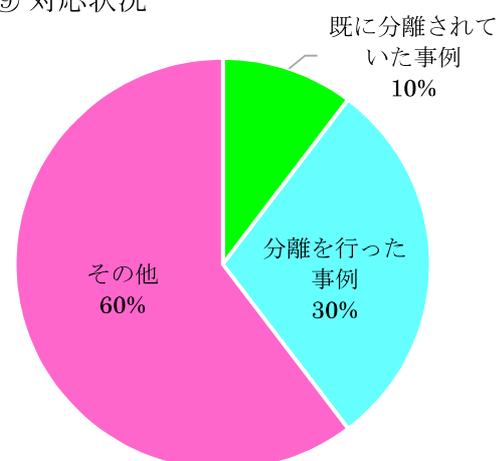
⑨ 対応状況

	件数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	413	10%
分離を行った事例	1,181	30%
その他※	2,422	60%
合計	4,016	100%

※内訳 (重複あり)

	件数
養護者に対する助言	1,364
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	69
新たに介護保険サービスを利用	222
介護保険サービスのケアプランの見直し	661
介護保険サービス以外のサービスを利用	139
経過観察(見守り)	482
その他	443

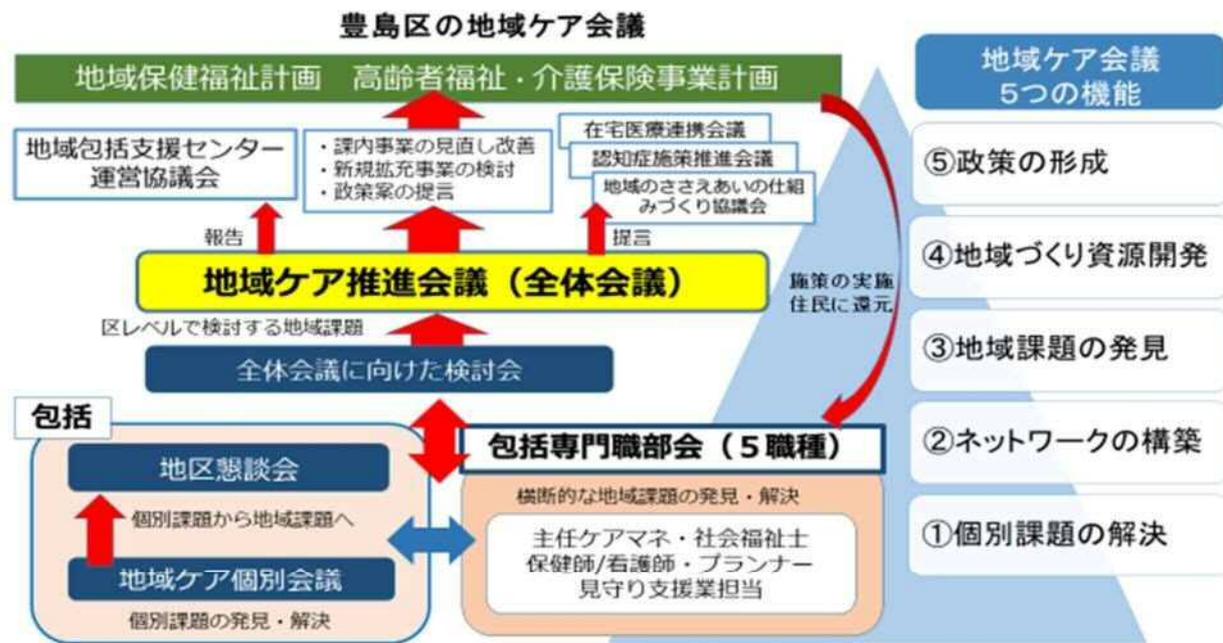
⑨ 対応状況



3. 地域ケア会議・予防プラン等の状況について

(1) 地域ケア会議について（令和2年度）

- 令和2年度から、専門職部会を再編成することで、横断的に地域課題に取り組む体制の強化が図られた。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から地域ケア個別会議・地域ケア推進会議ともに制約がある中での実施となった。



① 地域ケア個別会議

(ア) 「元気はつらつ報告会」（自立支援型地域ケア会議）

高齢者の「本人らしい生活」の実現に向けて多職種の専門的な視点に基づく検討を行う。

(イ) 「生活援助プラン地域ケア会議」（区主催）

「厚労省が定める回数以上の回数の訪問介護（生活援助）を位置付けたケアプランについて、自立支援・重度化防止の観点から多職種で検討を行う。

(ウ) 「個別会議」（包括主催）

支援困難ケースの課題検討、ケアマネジャー等の関係者支援を行う。

地域ケア個別会議（区主催）		
元気はつらつ報告会	生活援助ケアプラン地域ケア会議	総計
1	4	5

種別		個別会議	包括主催 元気はつらつ 報告会	総計
地域 ケア 個別 会議	菊	22	0	22
	東部	32	1	33
	中央	29	1	30
	ふくろう	11	1	12
	医師会	10	1	11
	いけよん	5	1	6
	アトリエ	26	1	27
西部	19	1	20	
総計		154	7	161

② 地域ケア推進会議

(ア)「地域ケア会議全体会議」(区主催)

区レベルで、地域課題解決策の方向性を検討し、地域づくり・資源開発、政策の形成を目指す。

(イ)「全体会議に向けた検討会」(区主催)

全体会議で検討する地域課題の分析・選定を行う。

(ウ)「主任介護支援専門員地域ケア会議会」(区主催)

介護支援専門員の支援に向けた検討を行う。

(エ)「地区懇談会」(包括主催)

地域の課題を共有し、多職種・多機関の連携による包括的な支援や、地域連携、ネットワークづくりを行う。

地域ケア推進会議(区主催)			
全体会議	全体会議 に向けた 検討会	主任介護 支援専門 員地域ケ ア会議	総計
1	8	0	9

種別		地区懇談 会
地域 ケ ア 推 進 会 議	菊	7
	東部	2
	中央	2
	ふくろう	3
	医師会	0
	いけよん	1
	アトリエ	1
	西部	2
総計		18

(2) センター長連絡会

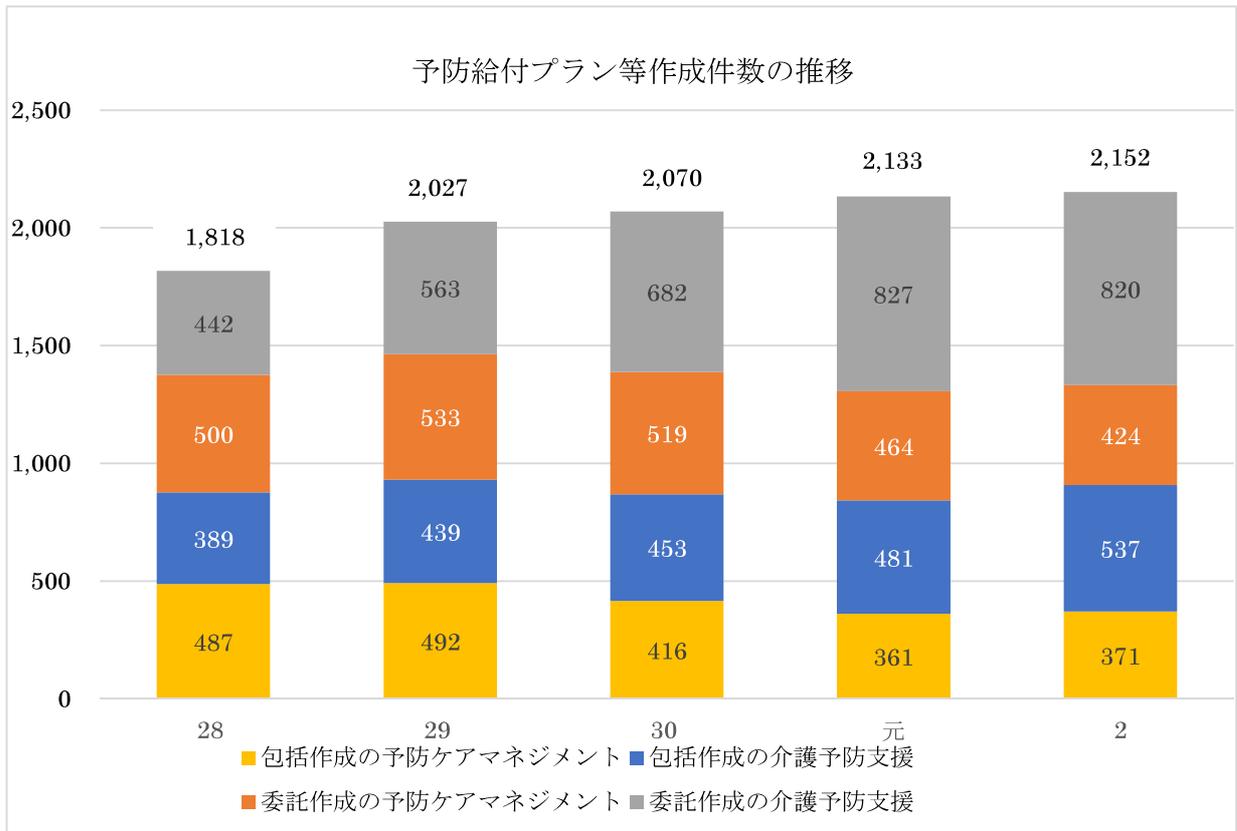
各包括間のよりスムーズな連携、情報の一元化等を目指して部会等のあり方を見直し、平成27年度新たに設定した、各包括のセンター長を招集する会議。毎月1回、原則9:00から1時間30分程度、事務連絡の他、包括全体で打ち合わせを必要とする課題について検討をおこなった連絡事項、課題に応じて必要な担当者にも出席を依頼した。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、4月、5月、8月のセンター長連絡会を中止した。

回	実施日	内容
第1回	6月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○安否確認リストの作成について ○緊急事態宣言解除後の介護予防事業の実施方法について(案) ○認知症地域支援推進員通信について ○令和2年度熱中症対策事業のスケジュールについて ○第2層コーディネーター配置に向けてのヒアリングについて
第2回	7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○特別定額給付金について ○令和2年度米寿訪問について

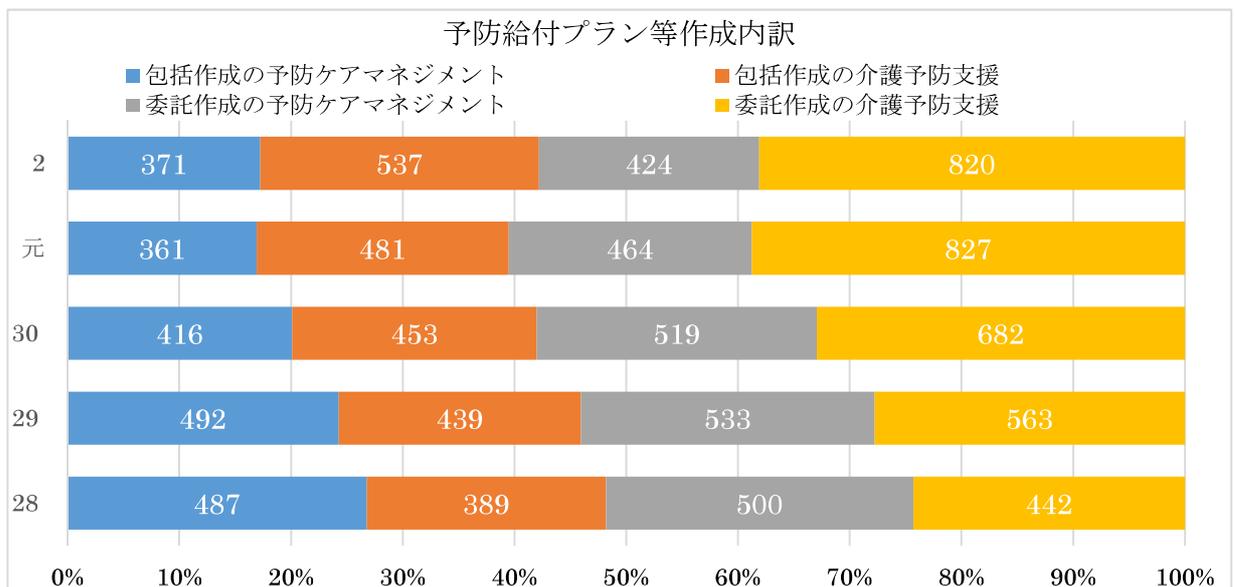
		<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍の自主グループの現状報告 ○猛暑時の避難場所開設状況について ○総合事業通所型サービス A 進捗状況について
第 3 回	9 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防・認知症対策について ○総合事業通所型サービス A について ○第 2 層生活支援コーディネーター配置の検討について ○ウィズコロナにおける高齢者への呼びかけ事業について
第 4 回	10 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもりに関する調査について ○耐震シェルター等助成事業について ○成年後見制度申立様式の変更について（情報提供） ○第 2 層生活支援コーディネーターの配置について ○ウィズコロナはがきの対応について
第 5 回	11 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ○特別給付金勧奨についてのまとめ ○年末年始の対応想定者リストの提出について（依頼） ○よびかけ事業はがき 1 月分の進捗について ○総合事業の制度改正について（情報提供） ○包括での新型コロナ発生時の対応について
第 6 回	12 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ○「高齢者の見守りと支えあいネットワーク事業に関する協定」の締結状況について ○ウィズコロナにおける呼びかけ事業の進捗について ○一般施策説明会質疑応答について ○地域資源 PT について ○豊島区総合事業の弾力化について（情報提供）
第 7 回	1 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和 3 年度新規拡充事業の実施状況について ○第 2 層生活支援コーディネーターについて ○通所型サービス A の開始について ○短期集中予防サービス強化支援事業について ○防災 PT アクションプランについて
第 8 回	2 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ○終活サポート事業について ○高齢者事業グループより ○認知症対策・介護予防について ○総合事業について ○リボンサービスについての意見交換
第 9 回	3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナワクチン接種について ○選択的介護について ○基準条例の改訂について ○シニア×としまぐらし（旧高齢者のてびき）の発行について ○見守り協定締結式について

(3) 予防給付プラン等請求実績について（平成28年度～令和2年度）



令和2年度の豊島区予防給付プラン請求件数は、令和3年3月時点で2,152件である（令和元年度は2,133件）。このうち、地域包括支援センター作成が908件（42.2%）、居宅介護支援事業者に委託しての作成が1,244件（57.8%）である。

平成28年度から総合事業が開始となり、総合事業のみを利用した場合は介護予防ケアマネジメントとなる。また、新規に作成するプランは原則として地域包括支援センターで作成することとなっているが、全体件数の増加に伴い委託の割合が増加している。



4. 認知症対策について

(1) 認知症支援事業 実施状況

① もの忘れ相談（定期相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	3	0	2	1	0	0	2	1	3	0
東部	4	1	0	3	0	0	2	2	3	1
中央	3	2	0	1	0	0	3	0	2	1
ふくろうの杜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊島区医師会	4	0	2	2	0	0	3	1	1	3
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0
西部	2	0	0	2	0	0	1	1	1	1
合計	18	3	6	9	0	0	13	5	12	6

② もの忘れ相談（随時対応相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	2	1	1	0	0	0	2	0	1	1
東部	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0
中央	4	3	1	0	0	2	0	2	2	2
ふくろうの杜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊島区医師会	4	0	3	1	0	1	1	2	3	1
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	4	5	2	0	3	3	5	7	4

③ 認知症介護者支援事業・認知症普及啓発（認知症サポーター養成講座、認知症ライフサポート研修）

地域包括支援センター	認知症介護者の会	認知症介護者支援講座	認知症サポーター養成講座
菊かおる園		1回	
東部	6回	1回	
中央	5回	1回	
ふくろうの杜	9回		1回
豊島区医師会	6回		
いけよんの郷		1回	
アトリエ村			
西部	6回		2回
合計	32回	4回	3回

④ 認知症初期集中支援チーム実績

地域包括支援センター	件数
菊かおる園	7
東部	5
中央	4
ふくろうの杜	2
豊島区医師会	3
いけよんの郷	3
アトリエ村	2
西部	4
合計	30

(2) 認知症支援事業について

事業名	事業内容	元年度実績	2年度実績
もの忘れ相談	地域包括支援センターにおいて、「豊島区認知症かかりつけ医」から医師会が選出した相談医が、もの忘れが懸念される高齢者やその家族の相談に応じる。 27年度より、随時対応相談を事業化し開始（豊島区医師会単独では、26年度より実施）	定期相談 11回 15名 随時相談 15回 16名	定期相談 10回 18名 随時相談 11回 11名
高齢者こころの相談	認知症状があり、高齢者本人や家族に病識がなく外来受診につながりにくい場合などに、	9回 11件	11回 18件

		専門の精神科医が場合によっては訪問し、直接本人や家族と面接することで本人の病状の見立てを行うとともに、今後の関わり方への助言を通して早期治療・支援に対応する。		
	認知症早期診断・早期対応事業	受診を拒否する認知症の疑いのある区民に対し、地域包括支援センターからの要請で認知症コーディネーターと認知症疾患医療センターアウトリーチチームが訪問し、適切な医療や介護サービスにつなげる支援を行う。	1件	1件
認知症介護者等支援事業	認知症パンフレット作成	認知症に関する基礎知識やサービス・相談先等を掲載したパンフレットを作成し、配布している。	6,000部	6,000部
	認知症支援事業	認知症高齢者の介護者が、病気の理解や対応方法、利用できる制度を学ぶとともに、介護者同士の交流によって仲間づくりの機会を提供し、孤立の防止を図る。	4回	5回
	介護者の会	認知症高齢者を介護している方が安心して悩みや不安を話す情報交換の場として、介護者サポーターが運営を支え、地域包括支援センターが地域情報を提供している。	55回 290人	32回 174人
	認知症カフェ（平成28年度から認知症カフェ登録事業・運営補助事業開始）	認知症の方やその家族、地域住民、保健福祉医療関係者が立ち寄り、交流や相談の場を提供している。	217回 3,657人	67回 464人
	認知症講演会（もの忘れ相談区民公開講座）	認知症の病気の理解、医療や介護、周囲の支援に関することをテーマに講演会を実施している。	1回	0回
	徘徊高齢者位置情報サービス	徘徊のある高齢者の所在を、在宅で介護している方が確認できる、位置情報サービスの利用料金の助成をしている。	8人	18人
	認知症医療連携強化（豊島区認知症かかりつけ医）	豊島区医師会では、認知症を診ることのできる医師を増やすために、所定の講習を修了した医師会員を認知症かかりつけ医として登録しており、その名簿を認知症パンフレットに掲載し、周知している。	70人	68人
	認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）と	61回 1,875人	36回 1,098人

	なるための講座を開催している。区主催講座と、講師が出向く出前方式の講座を実施している。		
普及啓発	①広報：事業の案内や講演会などの記事を掲載している。 ②中央図書館の特集展示 ③ホームページ：認知症の病気の知識や支援事業の案内をしている。	高齢者福祉課 広報特別号 1回 8/24～9/27	高齢者福祉課 広報特別号 1回 8/29～9/24
地域包括支援センターでの相談	専門知識を持つ社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員が、高齢者やその家族からの、福祉サービスや介護保険、介護予防などの相談に応じている。		

5. 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況

平成28年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）が始まり、65歳以上の高齢者であれば心身の状況等によって分け隔てなく、一般介護予防事業対象となった。一般介護予防は、住民主体の通いの場を充実させ、継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、生きがいや役割をもって生活できる地域の構築により、介護予防を推進していくことを目的としている。

(1) 通いの場の充実

① 介護予防サロン

事業名	事業概要	実施回数・参加実人数
介護予防サロン事業	地域の閉じこもりがちな高齢者が気軽に参加できるサロンを月1回程度開催。	12か所（114回） 1,832人 内訳 〔包括 8か所（74回） 864人 〔NPO等 4か所（40回） 968人

② 介護予防活動支援助成金交付事業

事業名	事業概要	団体数
介護予防活動支援助成金交付事業	主に高齢者が主体となって運営する介護予防・認知症活動を行う団体には、年3万円を助成。	46団体

③ 「自主グループ活動」

朗読や絵本読み聞かせ等の自主グループの他、講師と生徒の関係ではなく、誰でも何処でも住民が自主的に継続してできる「としまる体操」の活用を広げ、自主グループを増やしていく。また、自主グループ化した後は、イベントで発表の機会を設けるなど、更に活動の拡大を図る。

主な活動内容	活動グループ数
としまる体操	127 グループ
その他（朗読、絵本読み聞かせ等）	46 グループ

(2) 介護予防の担い手の育成

介護予防活動で自主グループ化を目指す際、率先して地域住民に声かけや活動の取りまとめを行う担い手が必要となるため、「介護予防サポーター」と「介護予防リーダー」の育成を行っている。

事業名	事業概要	登録者数
介護予防サポーター	高齢者が自身の介護予防の理解を深め、活躍の場を広げることを目的とし、シニア世代の互助機能を高める役割を担う人材の育成。	102 人
介護予防リーダー	健康寿命延伸のための介護予防推進とシニア世代の役割の創出を目的とし、課題発見型地域づくりを担うリーダーを養成する。	60 人
フレイルサポーター	まちの健康づくり、フレイルチェックの担い手を養成する。	84 人

(3) 体験型プログラム等

事業名	事業概要	実施回数・参加延人数
運動プログラム事業	○高齢者マシントレーニング 高齢者用マシンを使用して、筋力、筋持久力、柔軟性を高める。	3 クール<10 回> 118 人
	○筋力アップ教室 転倒しない身体作りを目指して、足、腰、腹部の筋力アップを図る体操。	6 クール<24 回> 372 人
	○高齢者水中トレーニング 水中歩行、水中負荷による体操を行い、運動機能の向上維持を目指す。	事業終了

認知症予防プログラム事業	○シニアのためのウォーキング教室 ウォーキングが脳と身体にもたらす効果について学びながら実践を行い、認知症の予防を目指す。	2クール<8回> 64人
	○絵本読み聞かせ講座 絵本の読み聞かせを行うことで脳を活性化し、認知症予防を目指す。	1クール<1回> 29人
	○コグニサイズ 脳活性化エクササイズで動作や発声によって、五感と認知機能に様々な刺激を与える	1クール<8回> 68人
介護予防推進事業	○イベント「介護予防大作戦」	1回 455人
	○お化粧品による介護予防講座 講座やお化粧品教室を開催し、日常的に化粧品に親しみ幸福感や外出する意欲を高める。	コロナ禍により 事業中止
	○口腔ケア講座 歯科衛生士が唾液の分泌を促すマッサージ等の実践を行い、口腔ケアの向上を目指す。	6回 87人
	○栄養講座 管理栄養士が必要な栄養素等の具体的な講座を行い食生活の改善を目指す。	16回 204人
シニアのための測定会事業	身体・体力測定、認知機能検査（簡易）を実施し、介護予防の取り組みのきっかけづくりとする。	事業終了
高齢者元気あとおし事業	元気あとおし会員に登録してボランティア活動をすると、活動時間に見合ったスタンプを押印する。スタンプ数に応じて現金に換金できる。	会員数 526人
食彩いきいきサロン事業	栄養バランスのとれた食事をしながら参加者同士で交流し、低栄養・閉じこもりを予防する。	事業終了

(4) 地域リハビリテーション支援事業

リハビリテーション専門職が、区民ひろばや、介護予防サロン、としまる体操グループ等、住民主体の通いの場への巡回支援を行う。

介護予防サポーター向け研修会の開催	リハビリテーション専門職向け研修会の開催	住民主体の介護予防グループへの巡回指導
1回	2回	133回

(5) 高田介護予防センター

地域に介護予防の視点が根付き、健康寿命の延伸を目指すため、平成 29 年に開設。個人・団体をとわず、介護予防の拠点として活用。

① 利用状況

来館者数	介護予防サポーター 導入数	介護予防イベント (自主活動)回数	介護予防事業 開催数回
7,432 人	211 人	219 回	44 回

(6) 東池袋フレイル対策センター

フレイル予防に大切な身体、心、社会参加の充実を図るため、食や会話、口腔機能維持などに関することを中心に取り組む多機能型介護予防センターを令和元年に開設。

① 利用状況

来館者数	介護予防サポーター 導入数	介護予防イベント (自主活動)回数	介護予防事業開催数
9,316 人	318 人	90 回	182 回

② フレイルチェック

フレイル(虚弱)のおそれのある方を早期に発見し、適切に対応するための仕組みとして、65 歳以上の区民を対象に、フレイルチェックを実施。

コース	実施回数	参加者数
しっかりコース	35 回	366 人
かんたんコース	26 回	262 人

(7) 総合事業等

事業名		事業概要	利用件数
基本チェックリスト		25 の質問項目により日常生活に必要な生活機能が低下していないかを調べ、該当者は介護予防・生活支援サービス事業の利用につなげる。 対象：65 歳以上の区民	実施数 110 件 事業該当者 93 件
訪問型 サービス 事業	介護予防訪問 事業	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や身体介護をする。 対象：要支援 1・2	1,146 件
	訪問型 サービス A	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や簡易な身体介護をする。家事援助のみの場合は区研修修了者により支援することもできる。 対象：要支援 1・2	8,673 件 (高額介護 予防サー ビス費相当 事業費を含 む)

	生活支援お助け隊（訪問型サービスB）	区で実施する研修修了者が自宅に訪問して、掃除等の簡易な家事援助をすることで利用者の自立した生活を支援する。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	19件 (実人数)
	短期集中訪問型サービス事業（訪問型サービスC）	3～6か月の期間で、リハビリテーション専門職等からリハビリテーション、口腔ケア、低栄養改善などのアドバイスを受けて、日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	リハビリテーション 107件 口腔ケア 6件 低栄養改善 19件 (実人数)
通所型サービス事業	介護予防通所事業	デイサービスなどで、介護予防を目的とした運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの選択的なサービスを日帰りで見られる。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	9,980件
	つながるサロン（通所型サービスB）	自宅や区施設などで体操や会食をしている自主グループによる活動（サロン）へ参加し、心身の活力の低下を予防する。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	29件 (実人数)
	短期集中通所型サービス事業（通所型サービスC）	リハビリ又は栄養改善などが必要な方を対象に、介護予防センターなどで3か月間週1回程度、専門職によるアドバイスを受けながら体操や会食をして日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	25件 (実人数)

令和2年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧

資料1 別紙

令和2年度 研修共通テーマ

①介護保険制度の知識 ②コミュニケーション力 ③ケアマネジメント実践力 ④生涯学習力・教育力 ⑤プロ意識と倫理

包括		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	共通テーマ	内容	人数	事業所数	開催形態
菊かおる園 高齢者総合 相談センター	1	令和2年5月15日	金	15:00	16:30	菊かおる園 会室 集	「菊かおる園圏域 ケアプラン点検～ アセスメント分析 ～福祉用具」	テーマ3 ケアマネジメン ト実践力	アセスメントの分析と予後予測 について実践力を身につける。	20	9	単独
	2	令和2年7月17日	金	15:00	16:30	菊かおる園 会室 集	「菊かおる園圏域 ケアプラン点検～ アセスメント分析 ～福祉用具」	テーマ3 ケアマネジメン ト実践力	アセスメントの分析と予後予測 について実践力を身につける。	20	9	単独
	3	令和2年9月18日	金	15:00	16:30	菊かおる園 会室 集	「菊かおる園圏域 ケアプラン点検～ アセスメント分析 ～訪問看護・リ ハビリテーショ ン」	テーマ3 ケアマネジメン ト実践力	アセスメントの分析と予後予測 について実践力を身につける。	20	9	単独
	4	令和2年11月20日	金	15:00	16:30	菊かおる園 会室 集	「菊かおる園圏域 ケアプラン点検～ アセスメント分析 ～訪問介護」	テーマ3 ケアマネジメン ト実践力	アセスメントの分析と予後予測 について実践力を身につける。	20	9	単独
新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止												
東部高齢者 総合相談セ ンター	1	令和3年2月18日	木	15:00	16:00	南大塚文化創造館 第1会議室	「成年後見申し立 てについて」～成 年後見制度に繋 がるタイミングは いつ?～	テーマ3 ケアマネジメン ト実践力	①リーガルサポート豊島支部 司法書士の先生方の事例を3 ケースを聞く。 ②事例を聞いてケアマネ同志 でのグループワーク。 ③質疑応答。	19	12	単独

令和2年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧

資料1 別紙

令和2年度 研修共通テーマ

①介護保険制度の知識 ②コミュニケーション力 ③ケアマネジメント実践力 ④生涯学習力・教育力 ⑤プロ意識と倫理

包括		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	共通テーマ	内容	人数	事業所数	開催形態
中央高齢者 総合相談センター	1	令和2年9月16日	水	9:30	11:00	上池袋第一区民集会室	新型コロナウイルス感染予防対策中における、介護予防のあり方について	テーマ5 プロ意識と倫理	人が集まることに制限がある中で起こっている利用者の状況を振り返り、生活様式の見直しや介護予防のアイデアを共有し、支援に活かします。	20	10	単独
	2	令和2年11月18日	水	9:30	11:00	区民センター 6階	成年後見制度とリーガルサポート	テーマ5 プロ意識と倫理	・本人情報シートについて ・地域福祉権利擁護事業から成年後見制度へ移行する事例の紹介。 ・質疑応答	20	10	単独
	3	令和2年12月23日	水	14:00	16:00	区民センター 6階	元気はつらつ報告会を活用しよう！	テーマ3 ケアマネジメント実践力	・元気はつらつ報告会の目的や助言者の視点などのおさらい。 ・包括職員を除いて検討メンバーを構成し、司会、助言者などの役割を体験する。	20	10	単独
	4	令和3年3月17日	水	11:00	12:00	オンライン開催	zoomを使って、法改正に関する意見交換をしよう！	テーマ1 介護保険制度の知識	・主に、居宅介護支援及び介護予防支援に関する内容を取り上げ、疑問に思っていることや解釈に関する意見を交換した。	20	10	単独
ふくろうの杜 高齢者総合 相談センター	1	令和2年10月29日	木	10:00	11:30	雑司が谷地域文化創造館 第二・三会議室	第一回ふくろうの杜ケアマネジャー研修会	テーマ3 ケアマネジメント実践力	新型コロナウイルス感染予防とケアマネジメント	23	8	単独

令和2年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧

資料1 別紙

令和2年度 研修共通テーマ

①介護保険制度の知識 ②コミュニケーション力 ③ケアマネジメント実践力 ④生涯学習力・教育力 ⑤プロ意識と倫理

包括		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	共通テーマ	内容	人数	事業所数	開催形態
豊島区医師会高齢者総合相談センター	1	令和3年3月18日	木	14:00	15:30	豊島区医師会館 4階講堂	新型コロナウイルス感染症対策～ケアマネとして何をすべきか～	テーマ5 プロ意識と倫理	講師から新型コロナウイルスの概要と今後開始されるワクチンの説明を受け、質疑応答を実施。	20	9	単独
いけよんの郷高齢者総合相談センター	1	令和2年7月～9月 (未定)				未定	地域のケアマネジャーの資質向上	テーマ3 ケアマネジメント実践力	未定	20	15	単独
	2	令和3年1月～3月 (未定)				未定	地域のケアマネジャーの資質向上	テーマ3 ケアマネジメント実践力	未定	20	15	単独
新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止												
アトリエ村高齢者総合相談センター	1	令和2年7月～9月 (未定)				未定	ケアマネジメント実践力の向上	テーマ3 ケアマネジメント実践力	事例検討会	25	11	単独
西部高齢者総合相談センター	1	令和2年9月25日	金	13:30	14:30	要町第一区民集会室1階和室	権利擁護について～高齢者虐待を予防するために～	テーマ5 プロ意識と倫理	虐待を中心に権利擁護に関わる研	15	9	単独